

科目名	色彩学	Subject	Studies of Color
サブタイトル	色彩に関する知識や考え方についての学び、および配色、カラーイメージ等についての課題作成		
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」
開講年次	開講時期	必修／選択	DP1 知識・技能 DP2 主体的行動力 DP3 課題解決能力 DP4 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力 DP5 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力 DP6 美しく生きる力を実践できる能力
2年	前期	選択	
授業形態	単位	時間	
演習	1単位	30時間	
ゲストスピーカー招聘回	なし		◎
教員名	栗本 佳典	メールアドレス	yoshinori.kurimoto@・・・
教員の略歴	右記 URL より一覧を確認してください。【 https://www.yamano.ac.jp/study/teacher/ 】		
実践的教育	×		
オフィスアワー	別途一覧をご確認ください。		

科目の概要								
美容をはじめ、色を扱う仕事から生活の場まで、さまざまな状況で必要とされる色彩に関する知識や考え方について学びます。色の分類からカラーシステム、配色、カラーイメージ、パーソナルカラー、色彩の歴史と文化などについて幅広く学ぶことによって、色に対する多様な考え方を理解します。また、学習内容の解説を行った後、実際にカラーチップや色鉛筆を使って演習を行います。テーマに沿って自分で考える演習課題を行うことによって課題解決能力を高めます。メイクやネイル、ヘアカラーなど色を扱う授業の内容に大きく関わります。								
授業方法								
対面	オンライン	ハイブリッド	ディスカッション	プレゼンテーション	作品制作			
○	-	-	-	-	○			
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）								
ディプロマポリシー	授業の目標							
DP1	色に対する知識や認識力、配色技法、イメージ力を養うことで幅広く色を使用することができる。							
DP3	イメージ力を養い豊かな色彩感覚を身につけることによって、さまざまな状況で必要となる色彩に対する判断力や表現力を発揮し課題解決することができる。							
DP4	色の歴史や文化を学ぶことによって、色に対する多様な考え方を理解し受け入れることができる。							
教科書・教材								
教科書	なし							
参考文献	なし							
各自準備教材	なし							
評価方法								
筆記試験	実技試験	受講態度	小テスト	レポート	プレゼンテーション	作品	課題	その他
-	-	10%	-	-	-	80%	10%	-
なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。								
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法								
個別に実地指導を行います。								
履修上の条件・注意								
時間外学習としては予習復習に限らず、ネットやテレビでの色に関する内容の視聴時間も含まれます。								
※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。								
本科目履修と関連する資格								
色彩検定								

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第 1 回	オリエンテーション	色を感じる仕組みや色と人間とのかかわりを理解し考えを述べることができる。	復習：色と人間とのかかわりについての振り返りとまとめ	60 分
第 2 回	光と三原色について学ぶ	色料の三原色や光の三原色など、色を再現する仕組みを理解し説明することができる。	復習：色を再現する仕組みの振り返りとまとめ	60 分
第 3 回	補色と配色について学ぶ	美容のさまざまな場面で登場する補色について理解し使うことができる。	画集やファッション雑誌、またはその画像などを見て、配色とイメージの比較や工夫を探りまとめる	60 分
第 4 回	イメージワードと色彩との関係を学ぶ	イメージ作りに必要となる、色の表現力を身につけ実践することができる。	画集やファッション雑誌、またはその画像などを見て、配色とイメージワードについて探りまとめる	60 分
第 5 回	三属性とカラーシステムについて学ぶ 「カラーカード使用」	正確に色を分類するための基準を知り、微妙な色の違いを見分けることができる。	復習：カラーシステムの振り返りとまとめ	60 分
第 6 回	色彩のトーンについて学ぶ 「カラーカード使用」	明度、彩度から生まれるトーン分類の方法を理解し、使うことができる。	復習：トーンの振り返りとまとめ	60 分
第 7 回	色名について学ぶ 「カラーカード使用」	色名の成立について理解するとともに、色名を考え発想力を高め応用することができる。	復習：周りにある色名について探りまとめる	60 分
第 8 回	対比、同化と色彩調和について学ぶ	色と視覚との関係を知る。また、色が人の心理に与える影響を理解し応用することができる。	美術作品の画集や画像などを見て、色彩調和を探りまとめる	60 分
第 9 回	色相やトーンを考えた配色を学ぶ	色相とトーンとの関係を理解し、さまざまな配色を作成することができる。	復習：色相とトーンの関係についての振り返りとまとめ	60 分
第 10 回	配色法① 基本的な考え方について学ぶ 「カラーカード使用」	配色の基本的な考え方を理解し使うことができる。また、記憶にある配色について分析することができる。	画集やファッション雑誌、またはその画像などを見て、配色の使い方を探りまとめる	60 分
第 11 回	配色法② 効果と調和について学ぶ 「カラーカード使用」	配色の効果や調和を理解し使うことができる。また、商品やポスターの配色を分析することができる。	商品やポスターなどの配色と調和について探り「ドキュメント」にまとめる	60 分
第 12 回	配色および色彩表現について学ぶ	学んだ配色法を活用して、色彩表現することができる。	復習：身の回りの色を色鉛筆等で色彩再現する	60 分
第 13 回	パーソナルカラーについて学ぶ 「カラーカード使用」	ベースカラーおよびパーソナルカラーの基本的な考え方を理解し説明できる。	復習：パーソナルカラーの振り返りとまとめ	60 分
第 14 回	色認識と日本の色彩文化について学ぶ	色認識と年齢との関係、および日本文化における色の特徴を理解し応用することができる。	復習：日本の色彩文化についての振り返りとまとめ	60 分
第 15 回	色彩表現と色彩構成について学ぶ	色彩表現として色彩構成を作成し表現力を高めるとともに配色を分析し解説することができる。	復習：色彩構成および「課題」の振り返りとまとめ	60 分